

東京2025世界陸上出場に伴うメキシコ選手の事前合宿の受入について

1 要旨・目的

9月13日から21日まで東京で開催される「東京2025世界陸上」出場に向けて、メキシコの砲丸投選手が広島で事前合宿を行ったので、概要を報告する。

2 現状・背景

東京2020オリンピックにおいて、県内の10市町で399人のメキシコ選手団が事前合宿を行ったレガシーとして、2022年3月に、広島県とメキシコオリンピック委員会が締結した交流協定に基づく、初めての受入となった。

3 概要

(1) 受入期間

令和7年9月1日（月）～9日（火）

○選手団：ウージェル・ムニョス選手（パリオリンピック男子砲丸投8位）

アレハンドロ・ラベルデスクコーチ

フランクリン・コルドバ理学療法士 合計3名

○合宿日程及び場所

9/2(火)～5(金)、8(月)	Balcom BMW Stadium(広島市西区観音新町2-11-124)
9/6(土)	東広島運動公園陸上競技場（東広島市西条町田口67-1）

(2) 知事表敬

○日 程 令和7年9月2日（火）

○場 所 県庁北館2階 第一応接室

(3) 高校生との交流

○日 程 令和7年9月3日（水）

○場 所 広島県立西条農業高等学校グラウンド（東広島市鏡山三丁目16-1）

○内 容 西条農業高等学校の陸上部の活動に参加し、高校生と交流

4 予算（単県）

960 千円

